

### 1 はじめに

展示解説部会は、4階の文化交流展示室で展示解説に関する活動を行っています。20代から80代まで幅広い年齢層の76名（平成25年4月現在）が在籍し、休館日である月曜日を除く各曜日の午前と午後で班を作り、合計12班編成でシフトを組み活動しています。通常の活動としては、①文化交流展示室内のQボックス（「？」マークがついているデスク）での質問対応、②団体予約の来館者への展示案内、③4階エスカレーターそばの受付カウンターで来館者からの依頼により随時行う展示室内の三つを行っています。

展示解説部会の組織は、代表1名、副代表2名で任期は1年です。また、班長が12名で任期は半年です。会議は月に1回、交流課や各部会代表からなる定例会と、展示解説部会の各班長からなる班長会があります。班長会では、定例会の報告や部会運営について審議し、班長を通じて班員へ連絡や意見やアイデアを議論して、実行できるよう展示解説部会の総意として定例会や博物館に伝えたりしています。

### 2 開館8年を経て現在

第2期：平成20～22年度

H20年1～3月	事前研修会（全10回）
H20年2～3月	展示解説部会 班別研修
H20年4月10日	第2期ボランティア発足式
H21年2月	学芸員による研修
H21年3月	展示案内（展示室のハイライトの案内）開始 展示室内のQボックスの変更（2箇所から1箇所） 4階エスカレーターそばに受付カウンターを設置
H22年9月4日	宗像研修（宗像大社、宮地嶽古墳など）
H22年10月31日	開館5周年記念 九博ボランティアフェスタ 解説ショー「むなかた—海の女神へのささげもの」
H23年3月27日	第2期ボランティア修了式

## 第3期：平成23年度～25年度

H23年2～3月	事前全体研修（全4回）
H23年2～3月	展示解説部研修
H23年4月10日	第3期ボランティア発足式
H23年6月～	古文書講座
H24年2月	
H24年3月10日	宗像・宮地嶽研修
H24年6月～	古文書講座
H25年2月	
H24年10月24日	来館者1000万人達成イベント 「きゅーはくまつり」～博物館ボランティアから感謝をこめて～ 「あなたもこれで九博通！九博クイズラリー」開催
H25年3月10日	求菩提歴史資料館・岩洞窟・妙法寺研修
H25年6月～	古文書講座
H26年2月	
H25年11月11日	吉野ヶ里歴史公園研修
H26年3月	第3期ボランティア修了式

### 3 文化交流展示室での展示解説

展示解説部会は、文化交流展示室で来館者へ展示解説の活動を行っています。日本各地はもとより海外からもお越しになり、小学生から年配の方まで幅広く対応しています。平成24年度は約2,600組、10,400名を案内いたしました。来館者が多いので、展示室ではさまざまな質問が寄せられます。たとえば、出口、トイレや休息室などの設備について、照明や展示方法について、展示品の素材・製法・使用方法・重要性などについて、など。これらの対応を通じて、来館者から様々な声をいただくことがあります。励ましの言葉、来て良かった、説明に対して喜ばれる言葉、また苦情の言葉もいただきます。その言葉のすべてを活動のやりがいにしています。

展示解説部会では、より一層研鑽を積み見どころやその背景にある歴史を楽しく伝えるだけでなく、来館者に新しい発見と感動を与える解説を目指しています。

### 4 来館者1,000万人達成イベント「きゅーはくまつり」

平成24年10月24日に、来館者1,000万人を記念してボランティアフェスタを開催することになり、展示解説部会は、「クイズラリー」という形式で参加することになりました。

参加決定後、タイムスケジュールの作成、実行委員の選定等各種の準備を開始し、プログラムのネーミングを「あなたもこれで九博通！クイズラリー」として進めることになりました。

最も大変だったのは、問題作成でした。文化交流室の5つのゾーンに分け、各班が分担して問題を作成しましたが、できあがった問題について適切か、表現は妥当か、大人向け・子ども向けになっているか等、さまざまな確認をする必要があり、問題作成の難しさを痛感いたしました。

迎えた当日、文化交流展示室にも多くの方が参加され、問題用紙を手に各ポイントをまわり、真剣ながらも保



護者の方と、楽しそうな様子の子どもたちを見ることができました。多くの来館者に、楽しんでいただくことができ、この催しに参加することができたことを満足しています。



古代の服装で解説



採点と景品付与

## 5 館外研修

### (1) 平成23年度 — 宗像大社と宮地嶽古墳 —

第3期ボランティアを迎えて初めての館外研修は、宗像大社と宮地嶽古墳でした。

九博4階文化交流展示室には、宮地嶽古墳と宗像大社の沖津宮である沖の島で発見された馬具や太刀など多くの国宝が展示されています。私たちはまず現地研修でこれらの知識を深めることにいたしました。

宮司の特別な案内で、宗像三女神を祀った神社と神奈備祭が行われる高台の高宮齋場等を見て回りました。ことに素石で四角に仕切られた高宮齋場は、周囲が木立で囲まれた神秘漂う場所でした。宮地嶽古墳は組まれた巨石が印象的でした。宮地嶽神社では古墳から出土した頭椎太刀かぶつちのたちのレプリカを見ることができました。意義ある研修となりました。

### (2) 平成24年度 — 求菩提山地区 —

文化交流展示室で、目にするもののひとつが、国宝「銅製の法華経・経箱」です。

発見された求菩提地区へ実際に行ってみて、それが製作された歴史的背景、製作に関わった人々の想いを感じることができました。

岩洞窟、求菩提資料館での説明、展示物の見学では山岳信仰、宇佐地区との関わり、修験道などについて非常に勉強になりました。

何よりも、自然と歴史の文化的景観の中に身をおいて、一つの文化財の背景にあるものに触れることができ、至福のひと時を過ごすことができました。

### (3) 平成25年度 — 吉野ヶ里歴史公園 —

弥生時代（古代）の生活や文化、空気までを体感できる研修でした。

有明海に面し、海山川と自然を巧みに利用した古代人の知恵に感心し、邪馬台国の背景まで思いを馳せました。現地のスタッフ、ボランティアの方たちとの交流も有意義でした。



吉野ヶ里歴史公園にて

## 6 おわりに

第3期ボランティアは平成23年4月から活動を始めました。この3年間、第2期ボランティアから指導や助言を受けつつ協力し、1期2期の先輩が導いた伝統を踏まえ、来館者に文化交流展示室を楽しんでいただけるよう工夫を重ね活動してきました。

4月には第4期ボランティアを迎えます。新鮮な感性で来館者と感動や喜びを分かち合える活動に、これまで以上に、充実と発展をしていくことに期待をしています。